

# 令和4年度 学習分析事業 改善計画 三原市立小泉小学校

## 1. 本年度の結果

### ①学力定着分析 NRT 偏差値平均 (全国を50とする)

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果 偏差値平均	/	49.7	53.6	50.8	49.5	50.9
	本年度結果 偏差値平均	53.9	56.1	54.9	59.3	55	55.8
算数	前年度結果 偏差値平均	/	50.3	54.8	48.2	46.2	49.8
	本年度結果 偏差値平均	57.9	57.9	58.5	57.6	56.5	57.7
理科	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	50.6	50.3	50.4
	本年度結果 偏差値平均	/	/	52.2	46.3	46.5	48.3
全体	前年度結果 偏差値平均	/	50	54.2	49.9	48.6	50.7
	本年度結果 偏差値平均	55.9	57	55.2	54.4	52.7	55.1

### ②全国学力・学習状況調査 正答率平均 (第6学年対象)

教科	国語	算数	理科
前年度結果 (対県比)	70 (106)	71 (101)	/
本年度結果 (対県比)	71 (105)	58 (90)	63 (95)

## 2. 調査から明らかになった課題

【年度当初の学力について】(NRTをうけて)	【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)
<p>●国語科の主な課題 2年生…観察文・書き足す内容(30%) 3年生…聞き取り・内容の理解(25%) 4年生…話し合い・要点のメモ(36%) 5年生…手紙を書く・文末表現(11%) 6年生…複合語の理解(46%)</p> <p>●算数科の主な課題 2年生…右から何番目(40%) 3年生…式の読み取り・乗法(40%) 4年生…二等辺三角形ではない(9%) 5年生…分数-分数+分数(39%) 6年生…小数を分数で表す(0%)</p> <p>●理科の主な課題 4年生…正午の影と太陽の位置(36%) 5年生…明かりがつく回路(11%) 6年生…水溶液の特徴・均一性(15%)</p>	<p>●国語科の主な課題 ・人物像や物語の全体像を想像する(50%) ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける(33.3%)</p> <p>●算数科の主な課題 ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる(25%) ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる(33.3%)</p> <p>●理科の主な課題 ・メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている(58.3%) ・水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している(41.7%)</p>

## 3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点課題となる領域	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年生</td> <td>書くこと</td> <td>図形</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>測定・データの活用</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>図形</td> <td>太陽と地面の様子</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>書くこと</td> <td>数と計算</td> <td>電流の働き</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>数と計算</td> <td>物の溶け方</td> </tr> </tbody> </table>		国語	算数	理科	2年生	書くこと	図形	/	3年生	話すこと・聞くこと	測定・データの活用	/	4年生	話すこと・聞くこと	図形	太陽と地面の様子	5年生	書くこと	数と計算	電流の働き	6年生	話すこと・聞くこと	数と計算	物の溶け方	<p>①NRTの誤答分析を全職員で行い、各学年の重点課題を把握し、改善計画を立案する。また、本校の課題となる単元を洗い出しを行った後、シラバスに印を入れ、重点指導を行うようにする。</p> <p>②夏季休業期間を活用し、各学年の重点課題に対しての具体的な授業展開や指導の工夫について、複数学年で協議し、取組内容を記録しておく。取組の経過について、毎月の担任者会で確認する。</p> <p>③夏季休業中に協議した取組内容をもとに、2・3学期の授業を行う。</p> <p>④夏季休業中に、重点課題となる領域に関する類似問題を、アシストシートを参考にして作成し、2学期からのドリルタイムで活用する。</p> <p>⑤作成した類似問題を実施した後、アシストシート(テスト用)を実施し、結果の分析を行う。</p> <p>⑥ドリルタイムにアシストシートを活用し、重点領域以外についても対策を行う。</p> <p>⑦NRT類似テストを作成し、本番同様に実施・解説まで行う。</p>	<p>①6月 ②7月～8月 ③9月～3月末 ④作成 7月～8月 実施 9月～3月末 ⑤実施・分析 10月 ⑥11月～3月末 ⑦作成 10月～11月 実施・分析 1回目 1月 2回目 2月</p>	<p>○重点課題のアシストシート 10月目標…80%以上 結果…国語84.9% 算数78.4%</p> <p>○NRT類似テスト 2月目標…85%以上 結果…国語80.2% 算数76.1% 理科88%</p>
	国語	算数	理科																								
2年生	書くこと	図形	/																								
3年生	話すこと・聞くこと	測定・データの活用	/																								
4年生	話すこと・聞くこと	図形	太陽と地面の様子																								
5年生	書くこと	数と計算	電流の働き																								
6年生	話すこと・聞くこと	数と計算	物の溶け方																								
<p>重点目標(何を、どのようにして達成するか)</p> <p>【学級・学習集団づくり】 ○各児童が自分の役割を理解し、学級・学校のために貢献できる学習集団づくりを行う。 ○学習規律を徹底し、児童が安心して授業を受けられることができる学習環境を整備する。 ○友達と良好な関係を築いていける学級集団を目指す。</p>	<p>①各学年の担任が、ソーシャルスキルトレーニングをがんばり朝会の時間を活用して定期的実施し、友達関係づくりの基礎力を養う。</p> <p>②児童が企画、運営して行うお楽しみ会を各学期末に行い、児童の自己存在感・自己有用感を向上させる。取組内容について交流する時間を設定する。</p> <p>③学習規律を各学級で徹底し、最後までやり切らせる。</p> <p>④「ほかほか言葉」及び「いいところ見つけ」のがんばり週間を設け、お互いの良いところを見つける活動を行う。</p> <p>⑤各学級の問題を担任者会等の職員会議で共有し、学校全体で問題に取り組む。</p>	<p>①1週間に1度 ②毎学期末 ③毎日 ④毎学期 ⑤毎月</p>	<p>○QU2回目実施時、学級生活満足群の数値が、1回目の数値+5%以上、または、全学級で1回目以上の数値となることを目指す。</p> <p>学級生活満足群1回目…64.5% 2回目…73.0%</p>																								

